

高林白牛口二の謡を聴く会

おはなし

第一部

高林白牛口二

第二部

高砂

高林呻二

鐘之段

高林白牛口二
大倉伶士郎

融

高林昌司

石橋

高林白牛口二

主催 高吟会

令和7年 12月5日(金) 午後6時15分始 十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)

● 入場料(全席自由席) ￥5,000 均一

※当日、石橋の謡本を販売いたします。

● お問い合わせ

※チケットはお電話、メール、ホームページからもご購入いただけます。

高吟会

〒603-8354 京都市北区等持院西町15

TEL. 075-462-1490 FAX. 075-463-3494

e-mail koginkai@ares.eonet.ne.jp

http://www.eonet.ne.jp/~koginkai/



喜多能楽堂チケット購入ページ

https://kita-noh.com/ticket/



〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9 TEL. 03-3491-8813

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに
目黒駅下車徒歩7分

第二〇四回 喜多流涌泉能

令和七年十二月五日(金)
午後六時開場

高林白牛口二の謡を聴く会

動静以天地
視哉涌泉美

鈿之翁

第一部 午後六時十五分始

おはなし

高林白牛口二

休憩(十五分)

第二部 午後七時始

仕舞

高砂

高林呻二

一調

鐘之段

高林白牛口二

大倉伶士郎

仕舞

融

高林昌司

一曲独吟

石橋

高林白牛口二

終了予定 午後八時半

主催 喜多流 高吟会

ごあいさつ

高林白牛口二

この私の謡を聴く会は、満八十歳をケジメに、能のシテを舞う事より引退を決心した時に、今後の目標としてなをを目指すかと考えて思いついた、「正座をして一曲を独吟で謡い上げる」ことを実行するために始めました。一応の目標として、十年間に二十番を目指す事としました。この間には、コロナ禍による中止もありました。また予期しないことに、会場に選んだ喜多能楽堂の改修工事による使用不能もありました。しかしその間には、京都にての開催を期待する方々の希望が多く寄せられ、それに応えるため、京都の涌泉能にても謡う事としました。

足腰の加齢による衰退を除いて、身体健康はどうやら無事に、この十一月八日に満九十歳を迎える事が出来ました。

その間に、一曲独吟として謡いました曲は、次の通りです。

高砂、松風、朝長、卒都婆小町、山姥、三井寺、野宮、小原御幸、鬼界島、砧、老松、定家、盛久、當麻、湯谷、弱法師、藤戸、忠度、頼政、融、隅田川、石橋。

全部で二十二番になります。どの一曲にも大きな想い出を感じています。

今回で一応の目的に達しましたので、一先ずの区切と致します。

その区切の曲に石橋を選んだのは、次のような理由があります。私の父は、子方時代より良き声帯に恵まれて、謡を楽しんで謡っていたように思います。飯田町の十四世六平太の住み込み内弟子としての修業時代の思い出として、この「石橋」の謡の稽古の有様を聞かされていきます。この時の話を前提に、私にこの曲の伝授をしてくれました。差し向かいで一曲の稽古なんて云う事は、そんなに多いものではありません。その稽古の中での気合いの凄まじさを、その片鱗でも具現させられたらと思って、この曲を選びました。

この曲を区切の曲として選んだのは、この企画を始めた時から決めていた事です。

次回予告

第二〇五回 涌泉能 於大阪大槻能楽堂

令和八年

能

経政

高林呻二

四月十一日(土)

独吟

西行桜

高林白牛口二

午後一時始

能

道成寺

高林昌司